

令和5年度 体育に関する指導改善計画

北広島町立豊平小学校

8月25日現在

令和4年度の重点課題

○運動愛好度
運動やスポーツをすることが「やや嫌い」、「嫌い」と答える児童の割合を現状値(男子:17%, 女子:8%)より減らす。

○20mシャトルラン
県平均値かつ全国平均値にする。

○ボール投げ
県平均値以上にする。

○遊びや体を動かす場面を増やすため外部機関とも連携し、その環境を増やす。

上記の課題を受けて具体的に取り組んだ事項

○20mシャトルラン
・業間運動で、マラソンや縄跳び・長縄跳びを実施した。
・校内マラソン大会を行い、ゴールと目標を設定し、見通しを持って取り組んだ。

○ボール投げ
・業間運動のサーキットトレーニングの中で、投げる活動、反復横跳び、短距離走を行った。

○遊びや体を動かす環境
・外遊びの日を設定し、外遊びを奨励した。

○小中連携加配教員による体育科授業の充実。(3~6年)

令和5年度新体力テストの結果(県平均値(令和4年度)・全国平均値(令和3年度)との比較)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	17.73	21.91	37.45	44.36	43.82	9.68	144.55	25.09	55.64	第5学年	16.29	21.00	40.71	44.29	37.29	10.00	148.29	16.00	58.14

県平均値かつ全国平均値未満

令和5年度新体力テストの結果(県平均値(令和5年度)・全国平均値(令和4年度)との比較)

男子	R5年度の県調査結果が判明した後、最新の情報を公開します。																		合計点
第5学年																			14

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	45.45	45.45	0.00	9.09	第5学年	14.29	57.14	14.29	14.29

学校独自の意識調査

1年生から6年生		
○体を動かすことが好き・まあ好きと答えた児童の割合	男子 91%	女子 92%
○週3回以上体育以外で体を動かしている児童の割合	男子 57%	女子 28%
○運動やスポーツを1日1時間以上すると答えた児童の割合	男子 43%	女子 40%

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- 学校内外で体を動かす時間の確保が十分にできていない状況であるため、一人ひとりの体を動かす時間をできるだけ確保する。
- 小中連携加配の専門性を生かす。(特に、運動のポイント指導を行う。)
- 各学級で記録の低い内容を補うような運動を授業の始めに取り入れる。

体育の授業以外で行う取組内容

- 業間運動において、5分間走、縄跳び・長縄跳びを行う。5分間走を行う際は、フォームを意識しながら走るように指導する。また、サーキット運動に立ち幅跳びを取り入れる。
- 体づくり運動の事例を提示し、業間等で実施できるように工夫する。
- 各学級で記録の低い内容を補うような遊びを業間等を利用して行う。

重点課題

体力面での課題

- 男女ともに「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅跳び」が、県平均値、全国平均値より低い。
- 週3回以上体育以外で体を動かしている児童の割合が低い。

情意面での課題

- 男子
・運動やスポーツをすることが「やや嫌い」、「嫌い」と答える児童の割合が9.09%である。(前年比10.91%↓)
- 女子
・運動やスポーツをすることが「やや嫌い」、「嫌い」と答える児童の割合が28.58%である。(前年比16.08%↑)

令和6年度の重点目標値

- 運動やスポーツをすることが「やや嫌い」、「嫌い」と答える児童の割合を現状値より減らす。
- 「20mシャトルラン」を県平均値かつ全国平均値以上にする。
- 「50m走」を県平均値かつ全国平均値以上にする。
- 「立ち幅跳び」を県平均値以上にする。
- 運動技能や運動意欲の向上を目指して、外部講師を招聘する。(年間2回以上)